

平成28年度案件「ベンゲラ総合病院白内障手術器導入計画」

実施団体：ベンゲラ総合病院眼科センター

供与額：101,000米ドル

平成29年（2017年）3月9日、草の根・人間の安全保障無償資金協力による贈与契約の署名式が大使公邸にて行われました。署名式には、ベンゲラ総合病院眼科センター長のルイス・バラダ氏が出席しました。本プロジェクトにより、同センターへ日本製の高品質な白内障手術器を導入することで、一日当たり約100名の白内障患者に手術を施すことが可能になるとともに、同センターの近隣地域において急増している貧困層への医療サービスの向上が図られることによる同地域の社会発展への貢献も期待されます。



澤田大使(右)と握手を交わすバラダ氏(左)



謝辞を述べるバラダ氏